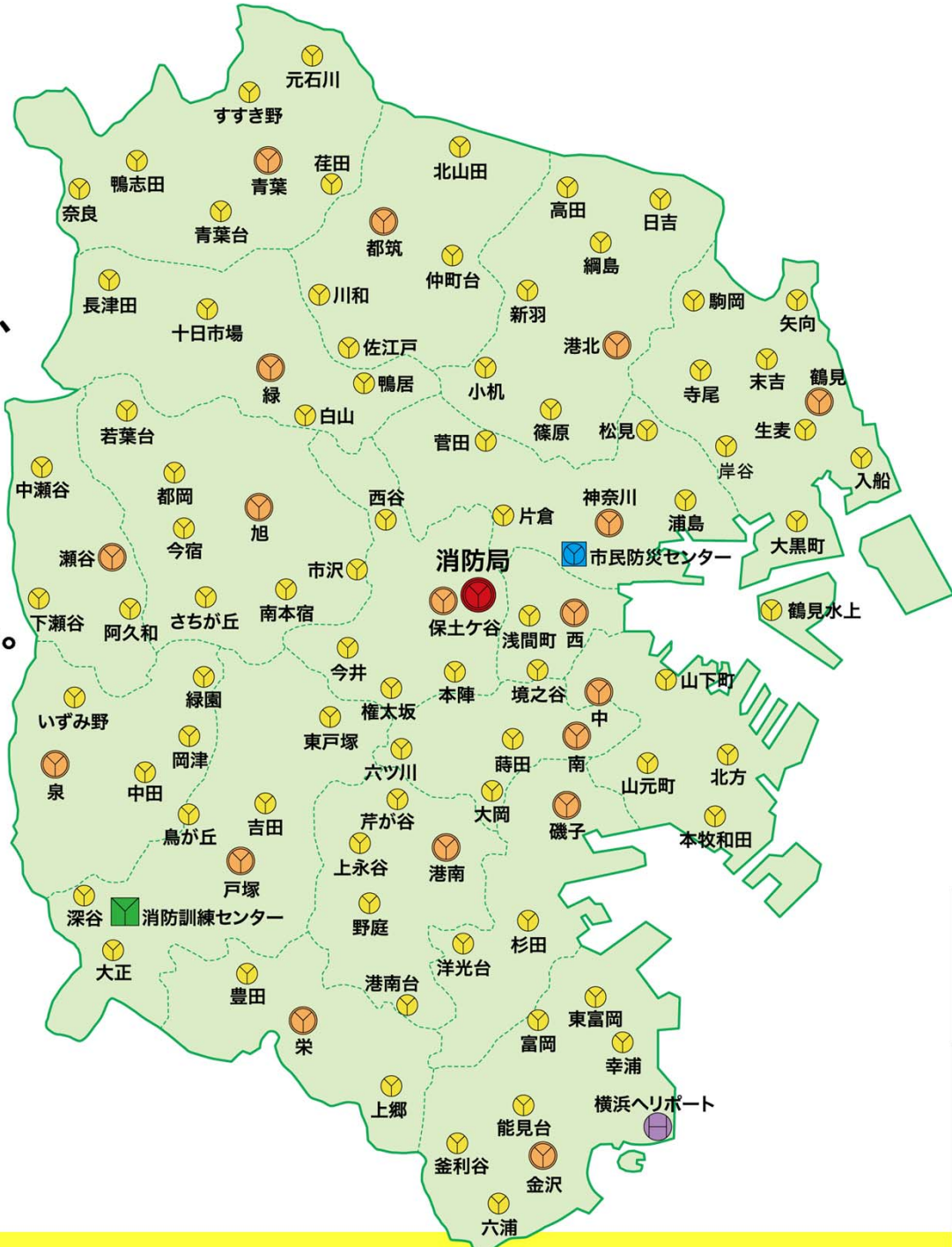


18区に
1か所ずつ消防署
を配置(全18署)、
市内に78か所の
消防出張所
を配置する。



私が
仲間になる理由 VOL.2
横浜消防魅力解説 2018

全国先駆け!!

消防署発祥の地

日本初の取組が多い横浜は消防署発祥の地でもある。
西消防署は1919年「第一消防署」として
現在の地に建てて以来、移転することなく
100年の歴史を持つ全国唯一の消防署である。



過去も これからも 全国に先駆けた取り組みにチャレンジ!
20XX年(未来のいつか)日本初の〇〇があなたの力で実現可能かも!!

【問い合わせ先】横浜市消防局人事課人事係 tel:045-334-6404

数ある消防本部の中で
横浜を選ぶ
ワケ
理由がある。



消防署の新築庁舎と最新の建築計画について

住む人、訪れる人が安全・安心を実感できる防災都市ヨコハマを実現するため横浜消防では、消防本部のほか、消防署18署、消防出張所78所、消防訓練センター（消防学校）、横浜ヘリポート、横浜市民防災センターなど多くの消防活動拠点を有する。

時代とともに変化する消防業務への要請に的確に応えるため、新たな機能・設備の充実をすすめている。

本資料では消防署の新築庁舎・最新の建築計画を紹介しよう！

平成24年 竣工(新築)

1 瀬谷消防署

【特徴】瀬谷区総合庁舎（地上5階・地下1階建）として瀬谷区役所と一体で建築され、地下1階から2階に消防署が入る。人口約12.4万人の瀬谷区の消防業務を担う消防署で消防職員約70人が勤務する。登はん用訓練施設を備えた庁舎。

～瀬谷区～

横浜市18行政区の最西部に位置する。水と緑が豊かな環境



平成26年 竣工(新築)

2 緑消防署

【特徴】地上3階、緑区市民活動支援センターとの合築。人口約18万人の緑区の消防業務を担う消防署。消防職員約80人が勤務する。女性用をはじめ仮眠室は全て個室。屋上には水平ロープを張れる訓練施設を備える。

～緑区～

横浜市の北西部に位置する。名前のとおり緑豊かな地域で緑被率は18区中最も高い。

平成28年 竣工(新築)

3 金沢消防署

【特徴】金沢区総合庁舎（地上8階建）として金沢区役所と一体で建築され、1階から3階に消防署が入る。人口約20万人の金沢区の消防業務を担う消防署。

消防職員約90人が勤務する。女性用をはじめ仮眠室は全て個室。大規模地震でも消防活動拠点維持できるよう免震構造を採用。

～金沢区～

横浜市18行政区の最南部に位置する。海の公園・ベイサイドマリーナ・八景島など海の魅力満載



平成28年 竣工(新築)

4 南消防署

【特徴】南区総合庁舎（地上7階・地下1階建）として南区役所と一体で建築され、1階から3階に消防署が入る。人口約20万人の南区の消防業務を担う消防署。消防職員約90人が勤務する。女性用をはじめ仮眠室は全て個室。免震構造を採用する。

～南区～

横浜市18行政区の中で一番人口密度が高い。大岡川プロムナードは桜の名所



平成29年 竣工(新築)

5 港南消防署

【特徴】港南区総合庁舎（地上8階・地下1階建）として港南区役所と一体で建築され、1階から3階に消防署が入る。人口約21.5万人の港南区の消防業務を担う消防署。消防職員約80人が勤務する。女性用をはじめ仮眠室は全て個室。免震構造を採用し、訓練室にはエアコンを導入。

～港南区～

ベッドタウンとして大規模な宅地開発が進み、利便性と居住性を併せ持つ



平成32年 竣工予定

6 保土ヶ谷消防署

【特徴】地上3階消防単独庁舎。人口約20.5万人の保土ヶ谷区の消防業務を担う消防署として最新機能を整備し、消防職員約80人が勤務する予定。

～保土ヶ谷区～

横浜市18行政区のほぼ中央に位置する。横浜市消防局の本部がある。

平成36年 竣工予定

7 横浜市消防局 消防本部庁舎

【特徴】人口約373万人の横浜市における消防本部庁舎。119番通報に対応する最新の指令設備や執務環境を整備し、消防職員約400人が勤務する予定。

新築ではありませんが

横浜市民防災センター 平成28年リニューアルオープン



【特徴】災害時の対応を実体験できる設備が充実。楽しみながら防災・減災の知識・技術を身に付けることができる施設である。平成29年度は11.2万人が来場者があり、自助・共助の知識を学んでもらっている。横浜駅から徒歩10分。ぜひお越しください！

